

災害看護セミナー

日時:2012年2月19日(日) 13:30 ~ 16:00
(受付 13:00~)

場所:兵庫県立大学地域ケア開発研究所 3階 演習室
〔兵庫県立大学明石キャンパス内〕

災害に強い病院づくり

How do we make our Hospital Prepared for any Disaster?

International Experiences on Hospital Preparedness
and Response to Disasters

講演者: Arturo Pesigan博士
(WHO神戸センター)

Pesigan博士は、現在WHOの緊急時人道支援技官として活躍されています。緊急時や災害時におけるより安全な病院、健康施設づくりについてお話頂きます。

講演者: Hanna Admi博士
(イスラエルランバムヘルスケアキャンパス病院 看護部長)

イスラエルでは、国・地域、個人レベルで、災害や救急への備えが整っています。また災害訓練は、病院施設を超えて、地域・国全体で実施されています。

Hanna Admi博士は、災害/救急看護を専門とされており、災害訓練や病院の備え等、災害に強い病院づくりについてお話頂きます。

(ひょうご震災記念21世紀研究機構による兵庫海外研究ネットワーク事業の助成により招聘)

定員:先着200名

■参加費

無料

■使用言語

英語(同時通訳あり)

■申込方法

FAX(裏面参加申込書にご記入下さい)にて、下記あてにお申込みください

■申込・お問い合わせ

兵庫県立大学地域ケア開発研究所
〒673-8588

明石市北王子町13-71

Tel: 078-925-9607

Fax: 078-925-9670



主催 兵庫県立大学地域ケア開発研究所
／WHO災害と健康危機管理に関する看護協力センター
後援 WHO神戸センター



【参加申込書】

「災害に強い病院づくり」〔2月19日(日)〕

ふりがな ご氏名	所属団体名・職名	ご連絡先電話番号

※ボールペンもしくはサインペンで、はっきりと楷書でご記入ください。
 ※お申し込み後、参加証等は発行いたしませんので、当日は直接会場までお越しください。
 日程の変更、定員に達する等ご参加頂けない場合に限り事務局よりご連絡をさせていただきます。

来所の際は、公共交通機関をご利用ください

会場のご案内

兵庫県立大学 地域ケア開発研究所
 [兵庫県立大学 明石キャンパス(看護学部)内]

(明石市北王子町13-71)

* JR山陽本線・山陽電鉄「明石駅」下車後
 バスにて約6分

明石駅北側のバス停「北4番」乗り場から神姫バス、もしくは明石市営バスで「がんセンター」方面のバスに乗って、バス停「がんセンター」で降りてください。
 (約15分おきに発車、所要時間約6分です。)
 バス停から西へ歩いて数分で明石キャンパスに着きます。

* JR山陽本線「西明石駅」下車後
 タクシーにて約10分

